

令和2年度(第13回)「国土交通大臣賞(循環のみち下水道賞)」

広報・教育部門

応募事例名

名古屋市下水道科学館のリニューアル

応募団体名)名古屋市上下水道局

応募事例の概要



水処理センターで、使った水をどのように処理しているのか、ゲームで学ぶことができます。

当局の浸水対策や、家庭でできる自助・共助について学ぶことができます。

使った水がどこに流れて行くのか下水の流れが見えるスケルトンハウスで学ぶことができます。

PRポイント

◆民間事業者のノウハウを活用

魅力あるリニューアルとするため、企画を提案していただく公募型プロポーザルにより事業者を選定し、局内関係者でさらに選定事業者の提案内容のブラッシュアップを行いました。

◆下水道広報施設としての魅力アップ

下水道の仕組みや役割について、分かりやすく学んでもらうため、ゲームや体験型の展示物を多く設置しました。近年頻発する浸水被害への対策を紹介するゾーンを新設し、浸水時の歩きにくさや扉の開きにくさを体験してもらうとともに、被害の軽減に向けて、家庭でどのような取り組みができるのかを紹介しています。

◆ネーミングライツの導入

リニューアルに合わせて、メタウォーター株式会社とネーミングライツ契約を締結し、愛称を「メタウォーター下水道科学館なごや」としました。

◆周辺に公募したデザインマンホール蓋を設置

マンホール蓋デザインを公募し、選定されたデザイン10点をリニューアルオープンに合わせて、下水道科学館周辺の歩道に設置することで、PR効果を高めました。